

# 人権だより

No.3 | 2(2024. 4)

## つなぐ バトンを繋ぐ

人権教育相談課長 岩崎 朋子

Instagramのリール動画。見始めるとやめられない。次から次へと興味をそそる動画が流れ、数分の動画に笑ったり、思わず泣いたり、私の心は大忙しだ。そんな中にも、つい何度も再生してしまうリール動画がある。杖をつきながらバスを不安そうに降りる乗客。それに気づき、そっと寄り添い一緒に下車を手伝う女性。それを見ていた男性が、車椅子を押しながら横断歩道を渡る高齢者に気づき、手を挙げ、一緒に横断歩道を渡る。その様子を見ていた男性が、公園のベンチ前に落ちているゴミを拾い、ゴミ箱へ。さらにそれを見ていた高校生が、友だちと停留所で談笑中、黄色い誘導用ブロックの上を歩く目の不自由な方に気づき、道を塞いでいた自分のカバンをそっとのける。まさに、“思いやりのバトン”である。彼らには「してあげている」という感覚はない。行動は自主的なものだが、振る舞いはいたって自然。動画のテロップには『思いやりは連鎖して街中にひろがり、そして、その思いやりはきっと一人一人に返ってくる』とある。勿論、フィクションではあるが、これを見ると、人はみな、人を幸せにする力があると背中を押されるのだ。こうしたひとりひとりの幸せを守る思いやりの連鎖が、人権を守り、平和を築くのだろう。

宇和島南の庭で、ウクライナとロシア両国の国花であるひまわりを植樹し、世界の平和を願って2年。他人事とせず関心を持ってほしいと始めた活動も現状が打破されず、新たな紛争が生まれる現実にもどかしさを覚える。そしていつしか紛争がある世の中が普通となってしまっている。日本には紛争、戦争がなく、一見、平和と言えるだろう。しかし、果たして本当にそうだろうか。紛争がない=平和な国、社会ではなく、あらゆる人の人権が守られ、安全に暮らせる未来が想像できてこそ平和と言えるのではないだろうか。おいしいご飯が食べられて、夜ぐっすり眠れる。おかしい、嫌だという意見が言えたり、ごめんなさいと謝ることができる。当たり前にも思えることも、実はこれができないと大変なことになる。「平和」というのは日常の本当にさりげない瞬間に存在しているが、当たり前前のことではないのだ。

昨年、宇和島グランマさんとの協働により、市内の子ども食堂ボランティア、能登半島地震への募金活動、被災地へののみかん贈答など様々な活動を通し、自らアクションを起こした南中生が倍増した。私たちの周りには、確実に思いやりの連鎖が起きている。

バトンは渡された。自分の心がとげとげしくなった時には、まずはひと呼吸。自分の言動に想像力を働かせよう。自分を、そして誰かを傷つけていないかと。ある人は次のように言った。「自分が一度傷ついた時には、私は周りに二度優しくするのだ。そうすれば自分も周りも優しくなれる」。こうした考えを持てたら、社会はやさしさで包まれるに違いない。誰かの心が不安定な時には、寄り添う気持ちを届けたい。“A warm smile is the universal language of kindness”「優しい笑顔は思いやりの世界共通言語である」(ウィリアム・

アーサー・ウード)。そう、笑顔は最大のパワーを持つ。明るさは幸せを呼び込むのだ。新年度の幕開けは新しい人間関係の始まり。さあ隣同士、微笑み合おう。そしてもし思いやりのバトンをひとりで渡せない時には、友だち同士、クラスの仲間や部活の仲間と一緒に渡してみよう。力と思ひもより強固となる。“平和を願う”でとどまらず、自分たちの意思で平和な世界をつくっていこう。

次はあなたの番だ。

## 南校人権教育相談課 自己紹介

○ 岩崎 朋子 2年1組 副担任 教科:英語 ※冒頭執筆

○ 三好 あや 教科:英語

新年度のスタートです。学校生活の内外で、いろいろな人と出会って、いろいろな考えに触れる機会を大切に。自分とは異なる考え方に触れることで、新たな気づきや発見があり、視野が広がります。私も皆さんと一緒に学ぶことを楽しみにしています。1年間よろしくお願いします。

○ 山岡 愛 教科:音楽

今年も、皆さんの悩みごと、困りごと、モヤモヤすること、聞いてほしいこと、どんなことでも、些細なことでもなんでもいいから相談にきてください!音楽準備室で待っています。合言葉は、「先生、解決して!」さあ、勇気を持って、ノックをしよう!

○ 速水 和幸 教科:英語

他者感覚を大切に、自分を磨き、周りの人とうまくやっていくことはとても大切なことですよね。みなさんの顔をたくさん覚え、みなさんと人権の大切さをいっしょに学び、爽やかな気持ちで学校生活を送りたいと思っています。1年間よろしくお願いします。

○ 清家 英美里 教科:家庭

近くの人の顔を見てみましょう。お互いがにっこりした顔をしていれば、それだけで幸せな気持ちになりますね。そうでない顔に気付いたときは声を掛けましょう。気付く、気付いてもらうって大切なことです。心から「幸せだ」、「学校生活が楽しい」と言えるよう、自分も周りの人も大切にできる心を育てていきましょう。

## 人権委員会の活動を紹介します。

### ・「人権を確かめあう日」の放送

「人権を確かめあう日」では、月に1回発行するこの「人権だより」を読んで、みんなで人権について考えます。朝の会・SHRの時間に実施しています。毎回、さまざまな先生方がさまざまなテーマで原稿を寄せてくださいます。一人一人、人権について改めて考えてもらいたいと思います。

### ・人権集会

講演会の開催や、人権委員の生徒が参加した校外の活動について報告、世の中にある人権問題についてまとめた内容を発表したりします。まずは「知る」ことから始めてみてください。

### ・ひまわり植樹

ウクライナとロシアの国花である“ひまわり”を校内の中庭で育て、両国並びに世界の平和を願って2年。今年もそのひまわりから採取した種を蒔き、皆さんの平和を願う気持ちを受け継いでいきます。身の回りや世界の平和に関心を持ちましょう。

この他にも、さまざまな活動を予定しています。